

平成27年度畜産業振興事業の執行状況

(単位:百万円)

区分	予算額	実績額	予算 繰越額	不用額	不用の主な要因
畜産業振興事業 (うち執行残額が大きい事業)	134,601	50,127	9,279	75,195	
1 肉用牛繁殖経営支援事業	15,877	102		15,775	肉用子牛価格が高値で推移し、平均売買価格が支援交付金の発動の基準価格を下回ることがなく、支援交付金の交付を必要とする事態に至らなかったため。
2 肉用牛肥育経営安定特別対策事業	86,799	34,391	9,267	43,141	3年間の業務対象年間の最終年であることから、前年度末の基金残高等を勘案して27年度の生産者積立金の単価を引き下げた結果、補填金の財源とする基金の造成額が少なくて済んだため。
3 養豚経営安定対策事業	9,881	0		9,881	豚枝肉価格が高値で推移し、平均粗収益が平均生産費を下回ることがなく、補填金を交付する必要がなかったため。
4 肉用牛経営安定対策補完事業	3,441	2,288		1,152	肉用繁殖雌牛の飼養頭数の減少が続いたことによる肉用子牛の生産頭数の減少と価格の高騰の結果、増頭・導入奨励事業等が、前年度実績より増加したものの、計画を下回ったため。
5 食肉流通改善合理化支援事業	3,703	1,618		2,085	中小食肉卸売事業者に対する民間融資の円滑化を図るための債務保証を受けている事業者で、代位弁済を必要とする事案が少なかったため。
6 畜産特別支援資金融通事業	1,992	1,346		646	畜産特別資金の貸付が少なかったことにより利子補給額が少なくて済んだため。また、代位弁済を必要とする事案が少なかったため。
7 畜産副産物適正処分等推進事業	6,736	5,488		1,248	牛と畜頭数が前年度を下回ったことにより、対象数量が計画を下回ったこと等のため。

注1:補助金ベース。事業毎の予算額は当初予算額

注2:「不用額の大きい事業」は不用額5億円以上で整理

注3:肉用牛肥育経営安定特別対策事業の予算繰越額(9,267百万円)については、27年度第4四半期分に係るものであり、28年度に執行される見込みである。